

6月定例議会の概要

○議会広報特別委員会の設置について
原案通り可決設置されました。

○吉野熊野国立公園の規制緩和を求める意見書(案)の提出について
原案通り(意見書参照)可決されました。

○串本町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
水口議員より、串本町の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正案の提出があり審議の結果賛成少数で否決されました。

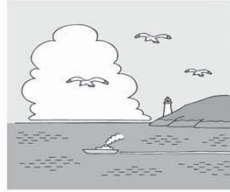
*原案賛成議員 水口、漆畑、川勝、寺町、結城

*原案反対議員 佐藤、芝山、鈴木、仲江、長脊、沼谷、濱田、橋爪、和田

○議員定数等に関する調査研究特別委員会の設置に関する決議について
和田議員より、串本町の議員定数等に関する調査研究特別委員会設置の提出があり審議の結果、原案通り可決されました。

*原案賛成議員 佐藤、芝山、鈴木、長脊、沼谷、橋爪、結城、和田

*原案反対議員 漆畑、川勝、寺町、仲江、濱田、水口



吉野熊野国立公園の規制緩和を求める意見書

串本町は茫々たる太平洋に面した本州最南端に位置しており、大自然が作り出した雄壮で風光明媚な海岸線は、そのほとんどが吉野熊野国立公園及び熊野枯木灘海岸県立公園区域に指定されています。

当町の南端に位置する潮岬地区・出雲地区は太平洋に突き出した海拔約60メートルの台地で、海岸線沿いを県道潮岬周遊線が周回しています。この道路は昭和60年に有料道路から一般開放され、以後急速に当該地域への住宅建築が加速しています。

また、東日本大震災以降住宅を高台へ移転したいという住民の声が多く聞かれるようになり、潮岬・出雲地区はもちろんのこと、平成11年に開通したくしもと大橋により本土とつながった大島の高台に土地を求める人も増えています。

さらに、国及び県から『南海トラフ巨大地震』『東海・東南海・南海3連動地震』の津波浸水想定が示されてからはその要望がますます増加しています。

当議会としても防災・減災対策として住宅の高台移転を積極的に推進しているところでありますが、串本町は総面積のうち80%以上が山林及び丘陵地であり、60%近くが40°以上の傾斜地のため高台の住宅地が限られている中、この地域で住宅建設の要望の多い個所が一部国立公園に指定されており、建築にあたり一定の規制があることから移転が進まない要因の一つとなっています。

つきましては、こうした状況をご勘案いただき、当該地域における規制を緩和していただきたく要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年6月27日

和歌山県串本町議会

(提出先)

内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・環境大臣
和歌山県知事・環境省近畿地方環境事務所長



6月定例議会の概要

概要

平成25年第2回定例会は、6月17日(月)より27日(木)までの日程で開催されました。
提出された案件は、当局から報告2件、議決案件20件、議会から発議案件4件について審議しました。主な審議結果は次の通りです。



主な議案と説明

- 選挙管理委員及び同補充員の選挙について
委員4名補充員4名の選挙を執行し、議長の指名推薦により、委員に関戸一嘉氏、田城博章氏、小片勤氏、垣平高男氏、補充員に神田三知夫氏、橋本新蔵氏、潮崎伸彦氏、平瀬信也氏が当選されました。
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
町長より前芝英子氏の推薦があり、適任者として認めることに決定しました。
- 副町長の選任について
任期満了に伴い、串本町副町長に、引き続き清野武志氏を選任したい提案があり、選任することに議会は同意いたしました。
- 監査委員の選任について
町長より、鈴木議員を議員選出監査委員に選任したい提案があり議会は同意いたしました。
- 教育委員の任命について
任期満了に伴い、引き続き野呂正人氏、日高由香氏を議会は同意いたしました。
- 串本町子ども・子育て会議条例の制定について
子ども子育て支援法の制定により、子どもに関する施策について調査・審議する機関を設置する必要があるため、その設置に関し条例を制定すると共に、関係条例について改正する提案があり原案通り可決されました。
- 串本町観光物産拠点施設等条例の一部改正について
タクシー業者撤退に伴うカヌーレンタル料金の利用料改定の条例改正が提案され、原案通り可決されました。
- 紀南環境広域施設組合の設置について
一部事務組合を設置するため規約を制定する提案がされ原案通り可決されました。
- 25年度一般会計補正予算(第一号)一般会計補正予算は原案通り歳入歳出15億3185万7千円を追加し、総額105億3985万7千円で可決されました。